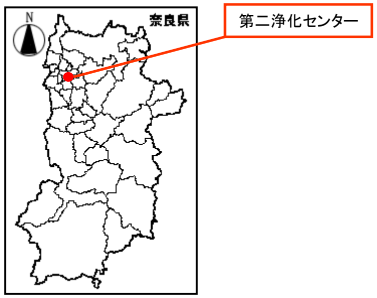
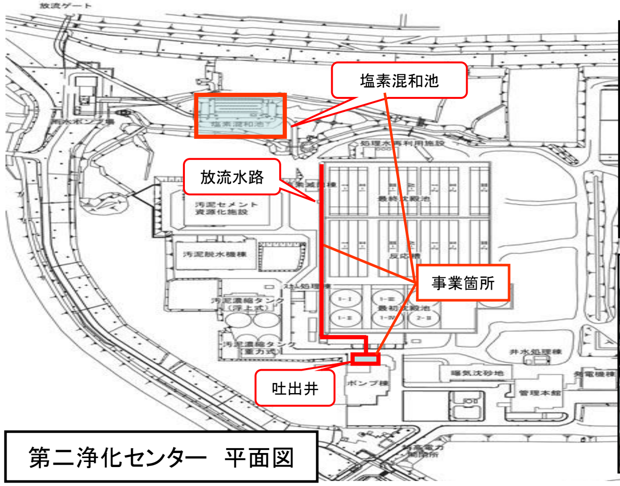
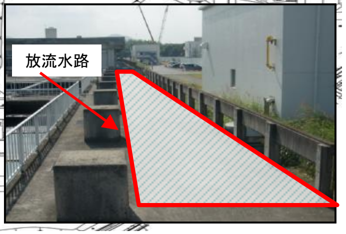
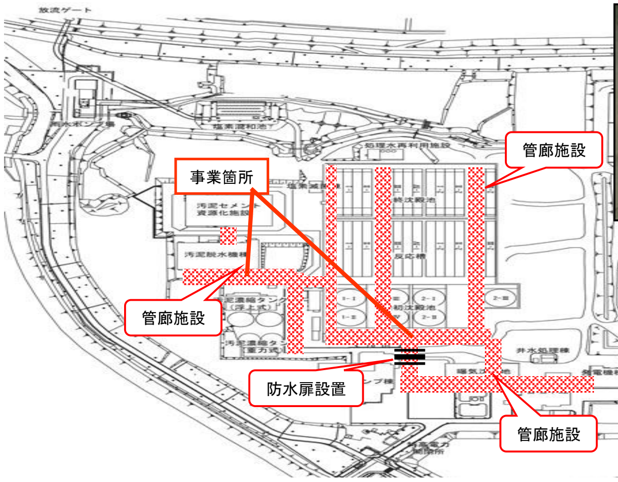
事業箇所総合評価シート

【担当課：下水道課】

事業名	補助流域下水道建設事業 （耐震）	路線名等	大和川上流流域 第二処理区　第二浄化センター
箇所名	北葛城郡広陵町萱野		

事業の概要	目　的	第二浄化センター処理場内の放流水路等の耐震化を行うことにより、地震災害時でも最低限の処理を行うことができる。
	事業内容	放流水路等耐震化 ・放流水路　可とう継手工事 ・吐出井　　増打ちコンクリート及び後施工せん断補強筋 塩素混和池耐震化 ・増打ちコンクリート ・後施工せん断補強筋 管廊施設等耐震化 ・可とう継手工事（28箇所） ・防水扉工事（2箇所）
	着手年度	平成26年度　／　完成年度：平成27年度　／　全体事業費：449百万円
定性的評価	事業の必要性	【必要性】 ①放流水路および塩素混和池は、震災等により第二浄化センターが被災した場合、最低限の処理をするために必要な施設である。 ②管廊は処理場内の電気ケーブルや電気設備、配管を納めた通路であり、管廊の継手部分が被災し漏水が生じた場合、管廊内の電気設備に被害が及ぶと処理場全体の機能停止につながるため、社会に与える影響が非常に大きい。 【緊急性】 早急に耐震性の確保が必要である。
	上位計画等	大和川上流流域下水道事業計画（H24年11月）
	事業の有効性 （事業により予想される効果及び影響）	耐震化により大規模な地震が起きた場合においても、最低限の処理が可能となりライフラインを確保することができる。
	コスト縮減への取組み	可とう継手工事において、経済的な工法を採用する。
	地元情勢等	ライフラインの確保は防災対策上強く求められている。
	他計画他事業との関連	奈良県地域防災計画（H20年）

評価結果	左　の　理　由
採択	必要な耐震対策と認められるため採択とする。

【位置図】